

4. 論文の訂正：査読審査の結果、原稿の訂正を求められた場合は、40日以内に、訂正された原稿に訂正点を明示した手紙をつけて、前記泌尿器科紀要刊行会宛て送付すること、なお、Editorの責任において一部字句の訂正をすることがある。
5. 校正：校正は著者による責任校正とする。著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する。
6. 掲載：論文の掲載は採用順を原則とする。迅速掲載を希望するときは投稿時にその旨申し出ること。
 - (1) 掲載料は1頁につき和文は5,500円、英文は6,500円、超過頁は1頁につき7,000円、写真の製版代、凸版、トレース代、別冊、送料などは別に実費を申し受ける。
 - (2) 迅速掲載には迅速掲載料を要する。5頁以内は30,000円、6頁以上は1頁毎に10,000円を加算した額を申し受ける。
 - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機器の使用などに関する治験論文および学会抄録については、掲載料を別途に申し受ける。
7. 別冊：実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

Information for Authors Submitting Papers in English

1. Manuscripts, tables and figures must be submitted in three copies. Manuscripts should be typed double-spaced with wide margins on 8.5 by 11 inch paper. The text of all regular manuscripts should not exceed 12 typewritten pages, and that of a case report 6 pages. The abstract should not exceed 250 words and should contain no abbreviations.
2. The first page should contain the title, full names and affiliations of the authors, key words (no more than 5 words), and a running title consisting of the first author and two words.
e.g.: Yamada, et al.: Prostatic cancer · PSAP
3. The list of references should include only those publications which are cited in the text. References should not exceed 30 readily available citations. Reference should be in the form of superscript numerals and should not be arranged alphabetically.
4. The title, the names and affiliations of the authors, the director's name, and an abstract should be provided in Japanese.
5. For further details, refer to a recent journal.

編集後記

最近、色々な journal から reviewer として査読を依頼される機会が増えた。査読をしていると医学論文の正しい書き方とはどのようなものか考えさせられる。私自身、論文の書き方は大学院生の時の指導教官に教えてもらった。苦勞して出した実験データである。一生懸命書こうとするあまりに、内容盛りだくさん、万国博覧会のような論文を書いてしまった。自分の考えた論文が、何度も真っ赤に訂正されて返ってくる度に大変悔しい思いをした事を思い出す。しかし、稚拙な論文が立派な論文に変貌していく過程を経験すると自分の未熟さを認めざるを得なかった。

それ以来、出来るだけ簡潔な論文を書くということに気をつけてきた。必要十分なデータのみを簡潔に提示し、自分の主張を論理的に解説する。不必要な事は書かない。これにつきる。Reviewer も忙しいのである。その意味で論文タイトル、要約、図表は重要である。忙しい reviewer は論文タイトルと図表のみで採否を判定すると聞いている。自分の状況を考えると大いに納得できる噂である。さらに読者も忙しいのである。価値の無い一文を時間をかけて読む暇は無い。読むのに3分間かかる無駄な一節が論文内にあったとしよう。“Nature” “Science” の読者は100万人を越えるだろうと予想されるが、これを換算すると300万分（または約2000日=5.5年）もの時間の無駄遣いに相当する。忙しく研究している読者にこのような膨大な時間を浪費させる事は犯罪にも等しい。

査読をしていると、その内容はともかく、論文の書き方の“イロハ”も理解していない投稿にも時々遭遇する。論文の長さ、図表の書き方、引用論文の記載の方法などは各 journal で決った体裁があるが、これも無視されている。華道、茶道などに限らず、どの道でも基本的な「お作法」があり、これが修得できていないと上のレベルには到達できない。医学論文も同じである。基本的な「お作法」を修得していないものにとって、いきなり英文の原著論文を書くことは不可能に近い。その点、泌尿器科紀要は査読や修正に際して教育的な配慮を重要視しており、論文作成の初心者にとって最適な journal であると考えている。「お作法」練習中の若手泌尿器科医には是非投稿してほしい。

最後は本誌の宣伝になってしまったが、忙しい時間を割いて査読をしていただいている先生方にこの場を借りて心から御礼を申し上げます。

(小川 修)

泌尿器科紀要 第46巻 第8号 2000年8月25日 印刷 2000年8月31日 発行
 発行 小川 修 顧問 吉田 修 発行所 泌尿器科紀要刊行会
 〒606-8392 京都市左京区聖護院山王町18 メタボ岡崎301号 電話 (075) 752-0100
 FAX (075) 752-0190

印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入
